２０２５年１０月３０日
ＥＩＮ　エネルギー情報ネットワーク

ＬＰガスＣＰ速報（２０２５年１１月積）

１．１１月積みサウジアラムコＬＰガスＣＰ
プロパン**４７５**㌦（前月比－２０㌦）
ブタン　**４６０**㌦（前月比－１５㌦）

① ＬＰガススポット市況等

ＬＰガスは需要期を控え、極東は温暖な気候で家庭業務用需要は低迷、中国国慶節、インドの祝祭休暇で市場は閑散、供給はＯＰＥＣプラスの増産で潤沢。ＦＯＢ市場は、需給緩和によりＣＰ先物が期近安。フレートが軟化するなか、ＣＦＲ市況も下落し10月積み極東着市況は、プロパン500㌦から第3週には450どころまで下げた。中国のＰＤＨ稼働率は70％弱、米中貿易戦争で米国産から非米国産へのシフトが続いているが、米中協議後の調達先が注目される。

米国市場をみると、需要は穀物乾燥用の需要期入り、輸出は回復傾向（グラフ③参照）で高水準だが、中国向けは、追加入港料の賦課により中東シフトが続き減少、インドの購入が見込まれている。天然ガス増産で供給は潤沢、全米プロパン在庫は高水準で需要期入り、5年平均レンジを上抜けている。モンベルビュープロパンスポット価格は、第1週350㌦台でスタートしたが、原油市況の軟化で、中旬には303㌦まで下落、月間平均では前月比24㌦反落の332㌦／㌧どころ（グラフ①参照）となった。

フレート市況は下落した。米国の中国関連船舶への追加入港料賦課に中国も米国関連船舶の中国寄港に追加入港料を課す報復措置の実施で混迷。船舶需給が緩和するなか、中国国慶節、インドの祭日休暇と続き市場は閑散。10月ＣＰ下落で採算が悪化した米国積みのキャンセルもあり、米国～極東市況は150㌦から110㌦まで下落した。中東市場は米中貿易協議の行方、インド、中東勢の傭船需要次第となっている。

ナフサ市況は反落、月間平均は前月比33㌦下落の570㌦／㌧どころ。原油市況が軟化し、石化需要も伸び悩み。ブタン安でナフサ代替需要、ナフサリンクの成約も。

バンカーオイルをみると、堅調に推移した。シンガポールＩＦＯ380は4カ月続落、月間平均で前月比17㌦下落の397㌦どころ、ＬＳＭＧＯ（低硫黄マリンガスオイル）は続伸、前月比5㌦上げの682㌦どころ、世界的な留出油の低在庫、ウクライナのロシア製油所攻撃でディーゼル油の供給に懸念も生じ、Ｃ重油との格差は286㌦に拡大した。

11月ＣＰは前年同月比プロパン160㌦、同ブタン170㌦の下落。原油（アラビアン・ライト）熱量等価換算（下記参照）では、前月に比べプロパン4、ブタン5ポイント上昇、前年同月比ではプロパン15ポイント、ブタン18ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート（中東―日本）	70	60	60	50	60
ＣＰ先物指標：Ｐ	480	450	440	460	458
ＣＰ先物指標：Ｂ	470	450	450	455	456

② 原油市況等

10月の原油市況は軟化、ＷＴＩで57～62㌦の狭いレンジ相場で推移した。欧米による対ロシア経済制裁が発動され、また、ウクライナによるロシア石油インフラへの攻撃が続き、ロシア産原油・石油製品輸出への懸念が高まった。地政学リスクが市況を下支えする一方、ＯＰＥＣプラスの増産政策、世界経済の減速懸念で供給超過の見通しが示され、需給緩和と地政学リスクの綱引き状態が続いている。イスラエルとハマスの停戦合意で中東情勢緊張緩和が期待されたが、先行きは危うい。金融市場では、利下げ観測から株価が最高値を更新するなどバブルの様相を呈しているが、原油先物市場では、総取組高も減少傾向、アルゴリズム取引を行うＣＴＡ（商品投資顧問業者）のポジションチェンジで値動きが増幅するが、決め手を欠く展開となっている。

○10月積みアラビアン・ライト（10月1～29日までの想定）は67.12㌦（前月比－6.09㌦）
熱量等価ＡＬ100％　プロパン550.31㌦／㌧　ブタン542.77㌦／㌧
ＡＬ比　プロパン86.31％　ブタン84.75％

＊上記ＡＬはＥＩＮ推計、確定値は後日Ｗｅｂサイトでご確認ください。

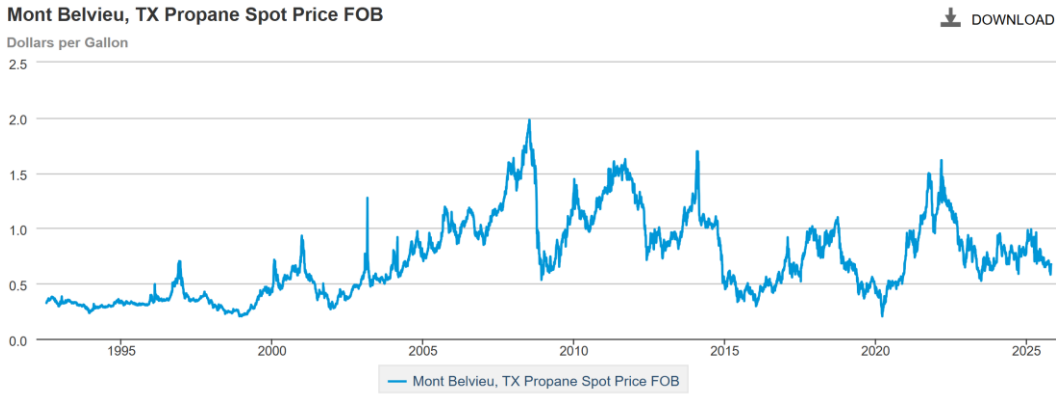
２．２０２５年11月ＬＰガス仕切（**ＣＰ・ＭＢコスト変動分**）への影響

適用為替	ＴＴＳ	Ｐ円建ＣＦＲ	Ｂ円建ＣＦＲ	Ｐ前月比	Ｂ前月比
10月月間	152.16	81,400	80,200	－2,500	－1,300

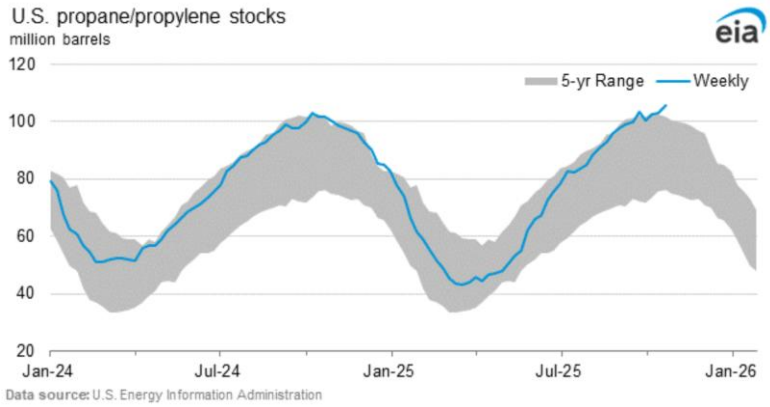
＊ＴＴＳ平均等について、上記は10月1～30日までのＴＴＳ平均。ＣＰは前月・当月50%案分。プロパンのＭＢ合成比率はＣＰ70%、ＭＢ30%で算定。ＣＦＲコストは中東・北米フレートを含むＣＦＲコストを表示。ＣＦＲコストには北米の基地経費等も含まれ、各社で異なる。

なお、上記ＭＢは10月28日までの価格を基にＥＩＮで試算（332ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はＷｅｂサイトを参照。

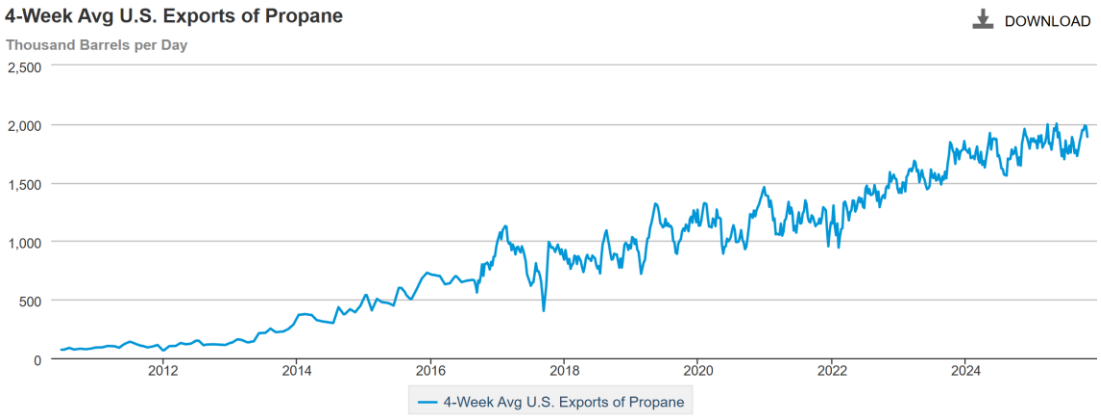
① 米国プロパンスポット価格推移



② 米プロパン在庫推移



③ 米プロパン輸出量推移



出典：EIA